



## 『利根山光人生誕100年・ 美術館開館25周年記念事業に寄せて』

記念事業実行委員長・利根山光人記念美術館友の会会長 高橋喜一郎

利根山先生の生誕100年と美術館開館25周年を記念し、各企画展などの事業を行ってまいりました。中でも、企画展50回目となる7月に開催された「阿吽 佐渡の鬼太鼓(おんでこ)と日本のまつり」で展示された「阿吽 佐渡の鬼太鼓」は力強い描写で、先生のエネルギーが乗り移ったかのように感じました。

先生は昭和47年、岩手県民美術展の審査で来県され、その時、亡き父高橋喜太郎と意気投合し、北上の郷土芸能を紹介するといたく感動されました。メキシコのマヤ、アステカの文明と共通するとのこと。そんな事からまつりをテーマに作品を制作したいと展勝地にアトリエを建設されました。

父の経営する北上画廊ではメキシコのまつりはもちろん、鹿踊や鬼剣舞をテーマに作品も多数展示され、その際にはメキシコ大使も来北され、大変感動いたしました。

先生の奥様である彌恵子夫人は聖徳学園の教授(ピアノ)です。家族ぐるみのお付き合いをしていただき、御夫妻の来北の際には亡き母や私の手料理で会話も弾み、メキシコの芸術、文化、料理にもふれることができました。どうしてもメキシコへ行ってみたいくなり、北上市の姉妹都市コンコード市長さんからコンコードジャズフェスティバルに招待されたのを切っ掛けに家内とメキシコまで足を延ばすことができました。

年々、北上の中心街も様変わりし、画廊も減ってしまいましたが、利根山光人記念美術館へ今後も沢山の皆さまに足を運んでいただき、鑑賞していただければ幸いです。

最後に専任研究員、生涯学習文化課スタッフの皆様に感謝申し上げます。



第4回大賞作品  
「宴もたけなわ、今夜も大忙し！」  
都丸直子(愛知県)

### 記念事業開催中

裏面につづく

#### ●記念企画展Ⅱ 9月4日(土)～11月30日(火)

- ①利根山光人記念大賞作品展…過去6回の大賞・部門賞受賞作品の展示
- ②利根山光人記念美術館のあゆみ展…企画展チラシ・大賞展ポスター・美術館通信・諸刊行物・市所蔵作品などの展示

#### ●巡回美術館「利根山光人作品展」

更木・飯豊地区交流センター(11月)、二子・藤根地区交流センター(11月～12月)

### 「絵画教室を終えて」 受講生の感想より

4月10日から8月7日まで計9回(新型コロナの影響で10回目は中止)の講習を無事終え、11人の受講生が修了証を手に入れました。

- ・絵を描くって自由でいいんだということが実感できました。
- ・今後は気軽に花や景色などをデッサンできたらいいなと思いました。
- ・老後の楽しみを充実することを目的に参加しました。「なるほど」と理解することがたくさんありました。
- ・立体感を出すことの難しさなどがわかりましたが、描きたいものがたくさんできました。
- ・光と陰、奥行きの出し方を考えさせられました。
- ・美術館に行くことが楽しみになりました。



## ～@TONE美～ 「利根山光人を巡る旅」③

松戸の聖徳学園を出て次の目的地、利根山光人の自宅兼アトリエのある等々力に向かった。JR大井町駅で乗り換え、東急大井町線で等々力駅に到着した。等々力駅はとても小さい駅で、住宅密集地の中にあった。グーグルのストリートビューで駅から画伯のアトリエまでの道のりは何度か見ていたので大体の雰囲気はわかっていたが、駅から3～400メートルほどの目黒通りに面した場所にアトリエがあった。

太いオレンジの斜線が入った建物は北上の美術館と同じで、ルーツはここにあったのかとちょっと感動。

建物は3階建てになっていて2階がアトリエ、3階が住居。1階は利根山画伯の長女、立花雅子さんが経営するメキシコ料理店La gordita（ラ・コルディータ）。「太っちょ」という意味らしい。ピンクの壁がよく目立ち、いわゆるにぎやかな飲み屋街ではない閑静な住宅地によく合い、家族でも楽しめる雰囲気の素敵なレストランであった。

雅子さんは聡明で、落ち着いた話しかたをする方だった。幸運なことに彌恵子夫人が降りてきて面会することができた。当年（2019年）98歳というご高齢だが、当日はお話もしっかりしていらっしゃったからうれしくなった。私はカメラを持っていたので、「もう年なので私を撮らないでね」と上品に撮影をお断りされた。

画伯の初めてのメキシコ行のことを、夫人に聞いてみた。

「台所に立っている私のうしろに少年のように直立し、メキシコに行きたいと言ってきたんです。行きたがっていることは感じていたけど、当時はそんなに裕福でもなく、『お金はどうするの?』と話しました。利根山は子供じみたところがあり、引く人ではなかったの。子供二人の学費にと貯めていたお金をもって片道切符でメキシコに行っちゃった。」とのこと。（次号に続く）

（専任研究員）



利根山画伯の自宅兼アトリエ

**美術館へ行くぞ！(Go To TONEBI) キャンペーン**  
 利根山光人生誕100年・美術館開館25周年記念企画展関連事業  
**太陽を描くワークショップ**  
**「つながる太陽プロジェクト！」**  
 作品鑑賞ガイド「気づき味わうアート」

美術館で太陽の絵を描きませんか。利根山光人画伯は太陽の画家と呼ばれていました。「私だけの太陽」の絵を描き、つなげて共同作品として展示します。また、企画展展示作品の鑑賞ガイドも行います。みなさんの参加をお待ちしています。

画材は用意しております。

キャンペーン実施日・時間：10:00-16:00  
 10/30(土)31(日)  
 11/6(土)7(日)13(土)14(日)20(土)21(日)23(火・祝)  
 場所：利根山光人記念美術館展示室A  
 ＊ワークショップ参加者は入場無料。缶バッジまたはポストカードを差し置きます。  
 ＊保健・子育て総合福祉施設HoKko（ほっこ）にて特別展示。12月～  
 完成した共同作品をぜひ鑑賞してください。

参加者は入場無料です。

2021 Toneyama Kojin Memorial Art Museum  
**利根山光人記念美術館**  
 利根山光人 生誕100周年

**利根山光人生誕 100年・記念美術館開館 25周年記念式典**

日時 令和3年 11月 24日(水) 午後2時  
 会場 ブランニュー北上  
 内容 オープニングで利根山作品スライド上映

記念講演

**「利根山光人と『メヒコ・マヒコ』」**  
 ～日本人画家を魅了したメキシコの魔術的世界とは～  
 講師 日本経済新聞社 窪田直子氏

※参加希望者は11月19日(金)までに電話で下記生涯学習文化課へ申し込みください。定員20人(先着順)。

**冬季休館のお知らせ**

❑冬季休館期間 2021年12月1日(水)～2022年3月31日(木)  
 ❑来年度の開館 2022年4月1日(金)からとなります。